

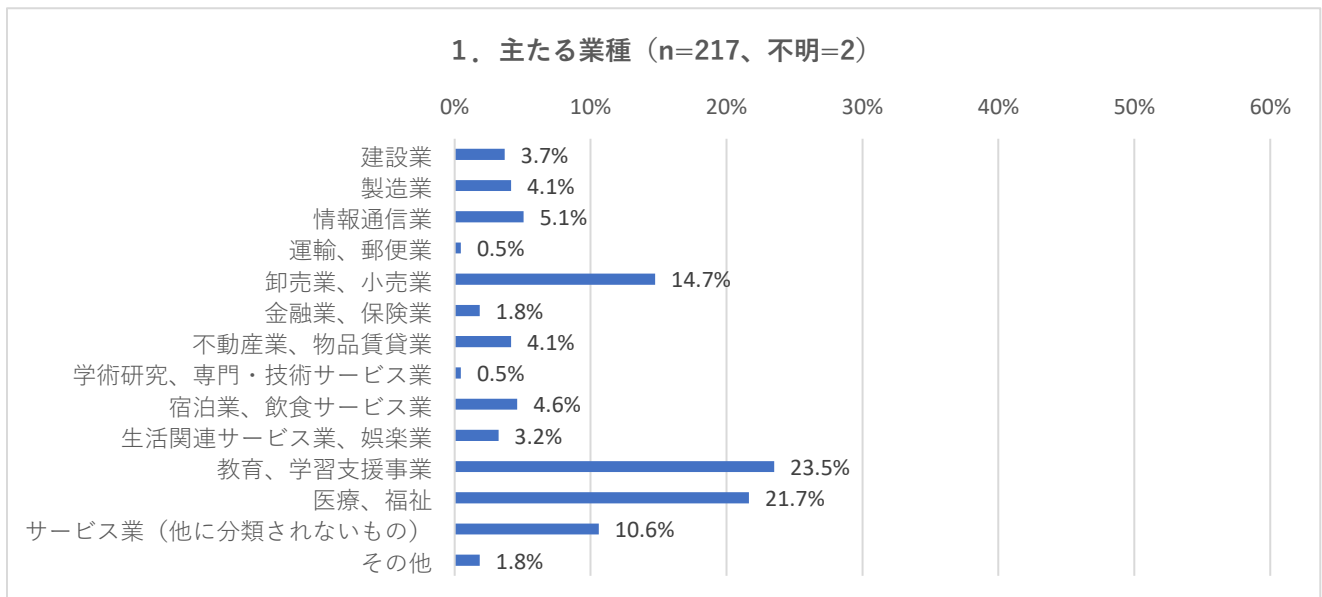
2019年度 東京成徳大学卒業生就職先アンケート結果の概要

教育研究改善委員会

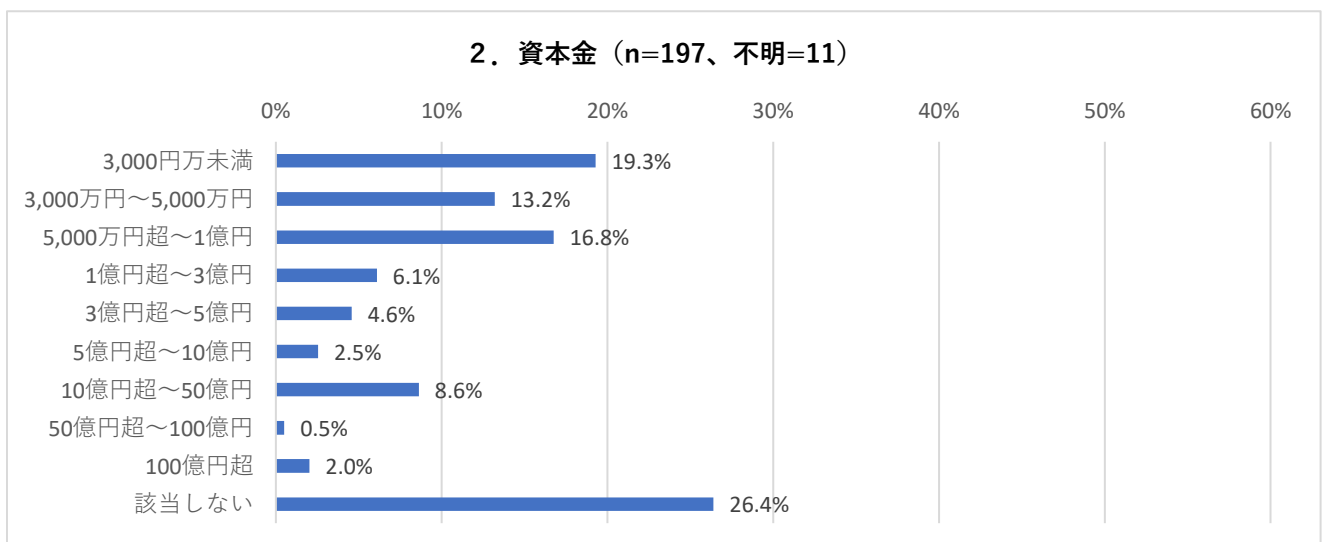
I 調査の概要

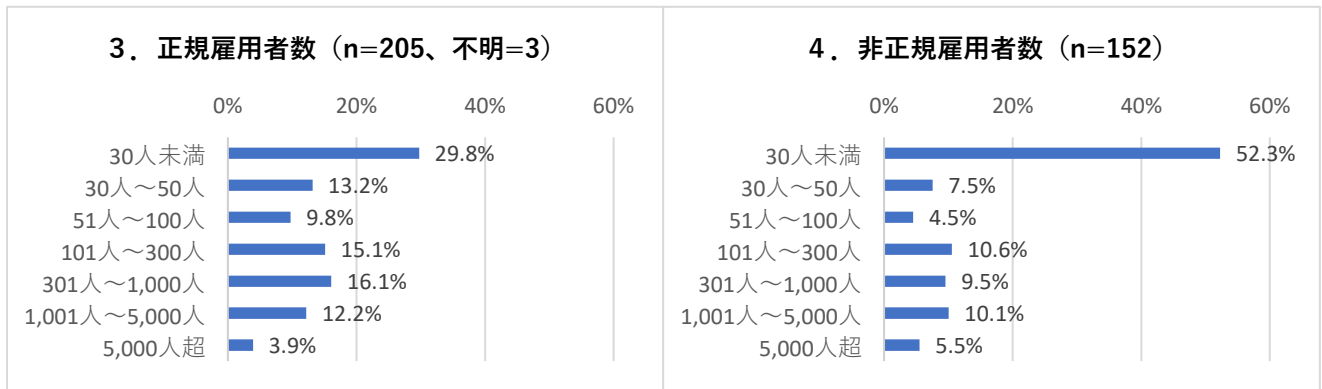
- (1) 目的 東京成徳大学が目指す「学修成果」が、企業・団体で仕事に取り組む上でどの程度必要であるか、また、そのような「学修成果」を本学卒業生がどの程度身に付けているかを検証する。
- (2) 対象 卒業後3年以内の卒業生の就職先企業・団体の中から2019年度学部卒業生の就職先組織数以上(計450社・団体)。調査対象卒業生の年度別・学科別の内訳は本資料の最後に掲載。
- (3) 方法 対象企業への郵送によるアンケート送付及び回収
- (4) 期間 2019年12月16日(月)～2020年1月17日(金)
- (5) 回収状況 回答企業・団体数: 208社・団体
回収率: 46.2%

II 貴社・貴団体についてお聞かせください。

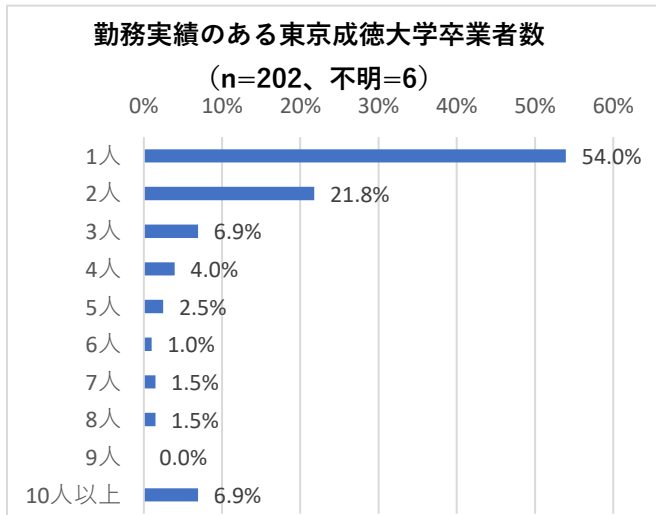


(注)複数業種を回答した企業・団体があるため合計が208を超える。





Ⅲ 東京成徳大学の卒業生についてお聞かせください。



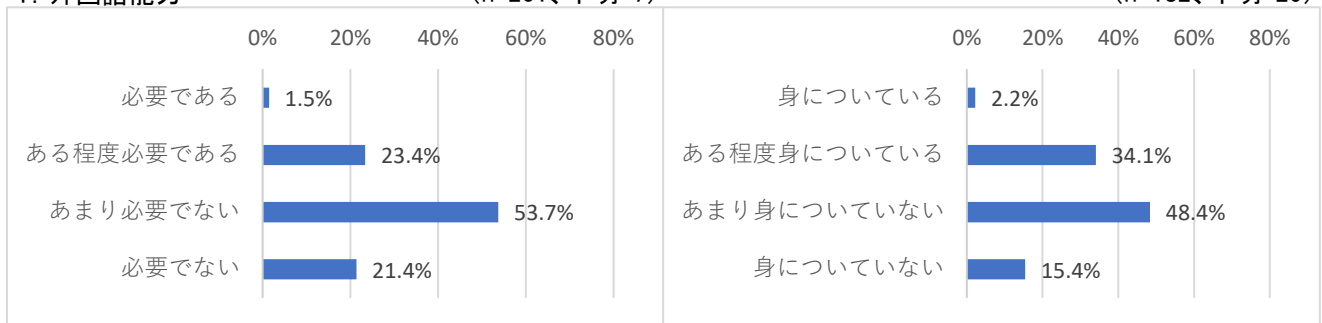
Ⅳ 下記の(1)～(11)の「学修成果」の修得について、貴社・貴団体では仕事に取り組む上でどの程度必要でしょうか。また、そのよう「学修成果」を本学卒業生がどの程度身に付けているとお考えでしょうか。卒業生が複数在籍している場合は平均的なもので結構です。

(企業・団体における必要度の認知)

(東京成徳大学卒業生の修得度の認知)

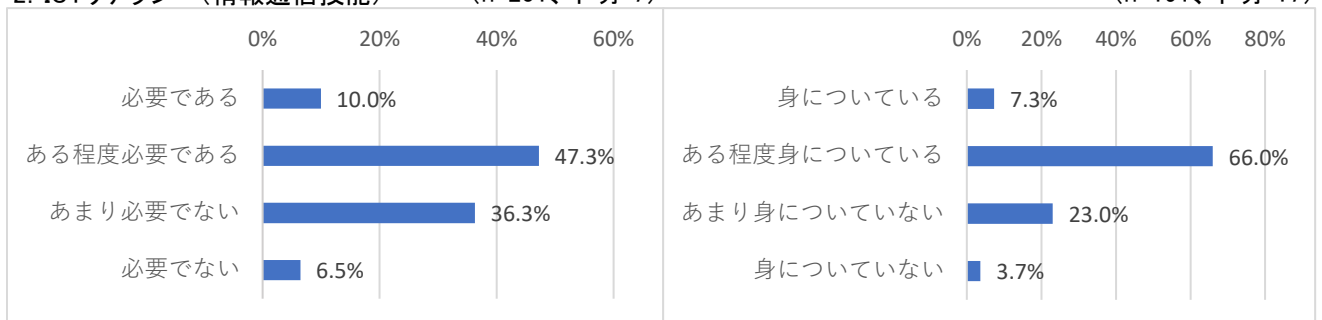
1. 外国語能力 (n=201、不明=7)

(n=182、不明=26)



2. ICTリテラシー(情報通信技能) (n=201、不明=7)

(n=191、不明=17)

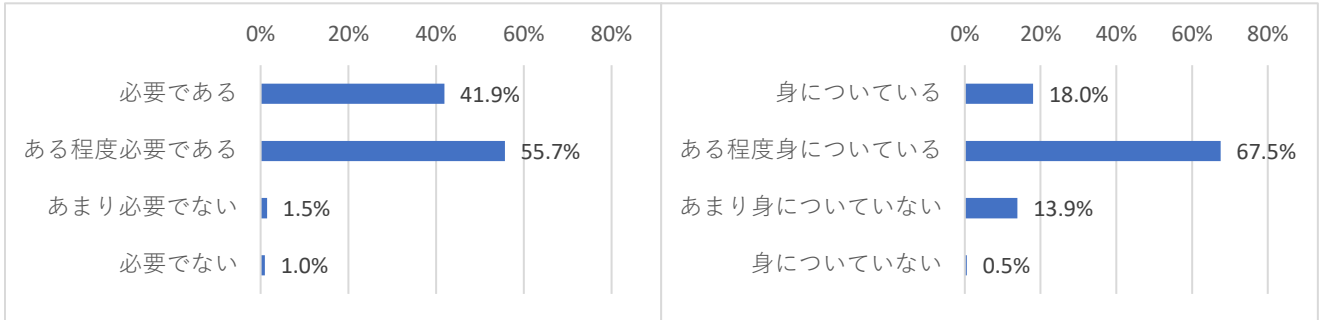


(企業・団体における必要度の認知)

(東京成徳大学卒業生の修得度の認知)

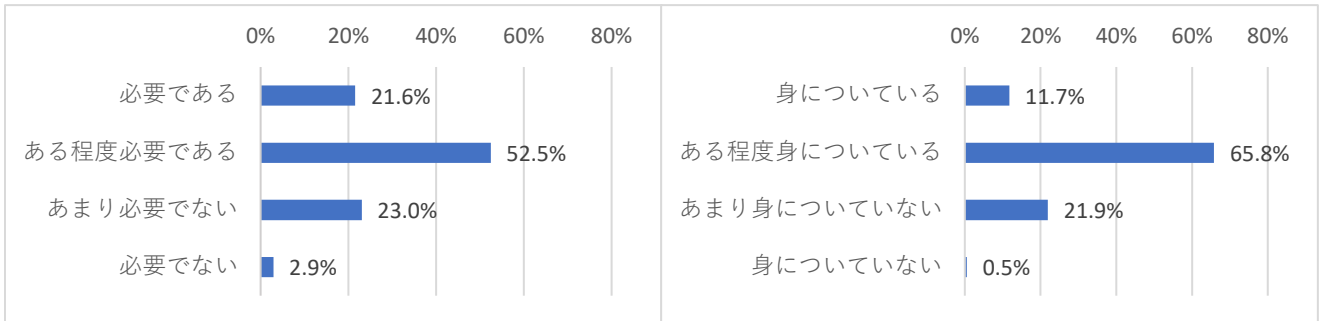
3. 幅広い知識と教養・一般常識 (n=203、不明=5)

(n=194、不明=14)



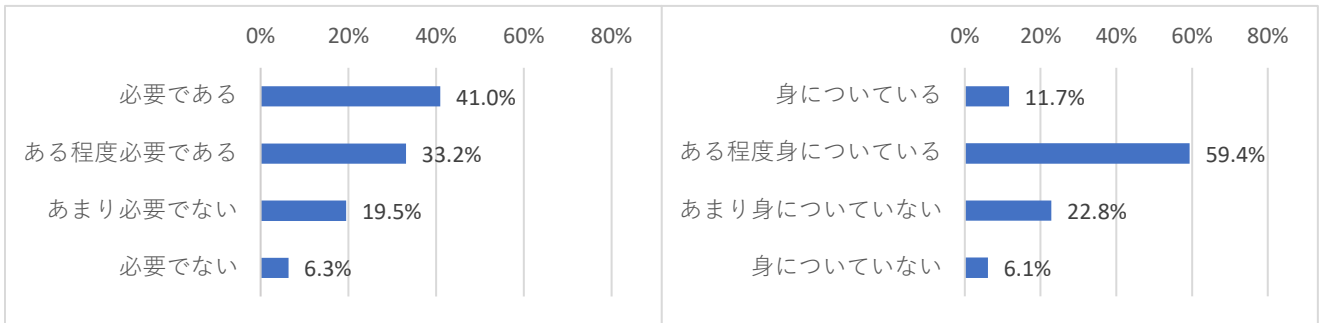
4. レポートや論文を書く力 (n=204、不明=4)

(n=196、不明=12)



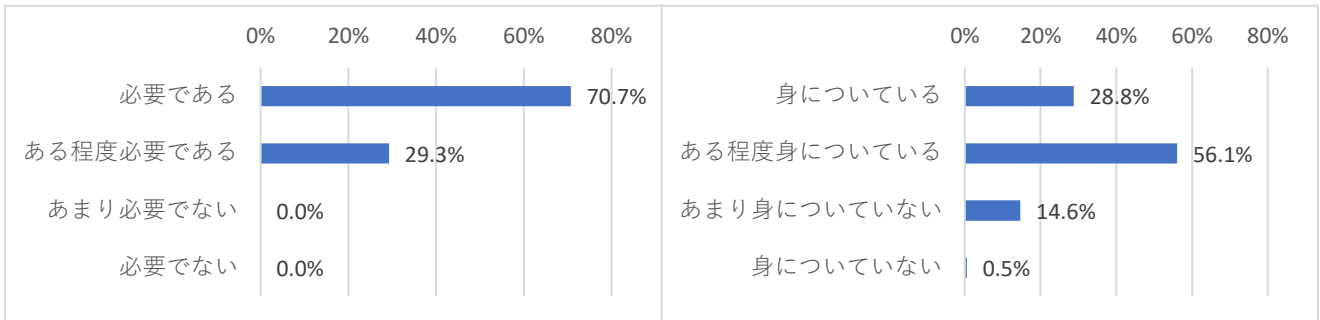
5. 専門的な知識 (n=205、不明=3)

(n=197、不明=11)



6. 自主性・主体性 (n=205、不明=3)

(n=198、不明=10)

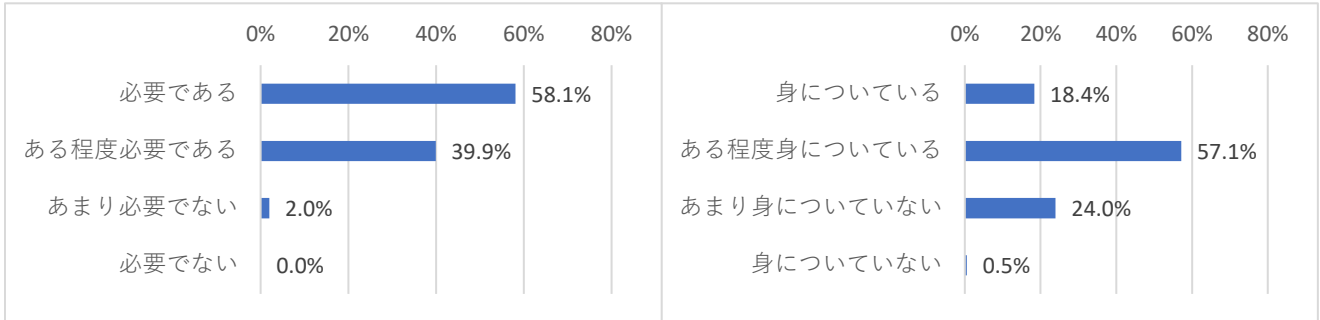


(企業・団体における必要度の認知)

(東京成徳大学卒業生の修得度の認知)

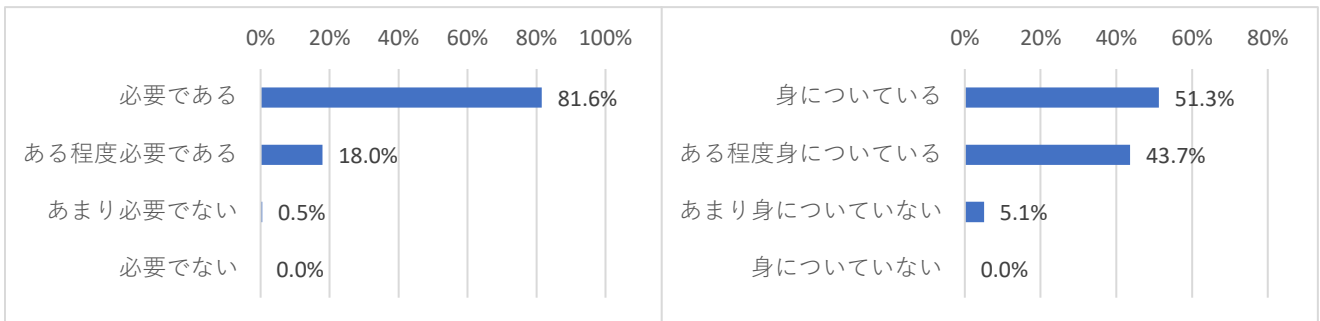
7. 課題発見と解決能力やスキル (n=203、不明=5)

(n=196、不明=12)



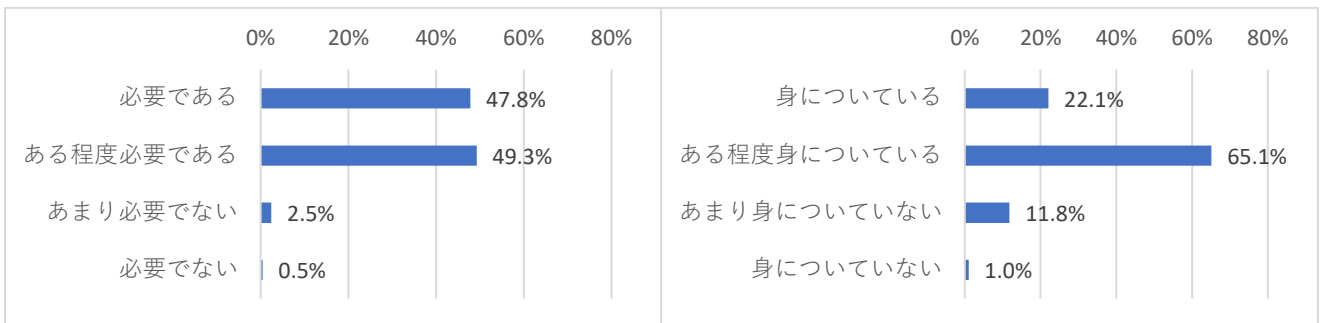
8. 協働性(一緒に取り組む力) (n=206、不明=2)

(n=197、不明=11)



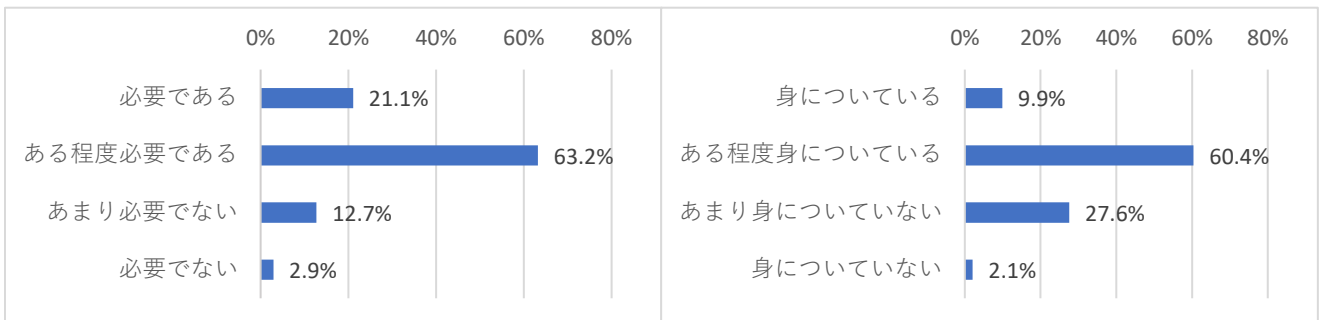
9. 自分自身のものの見方・考え方 (n=203、不明=5)

(n=195、不明=13)



10. プレゼンテーション力 (n=204、不明=4)

(n=192、不明=16)



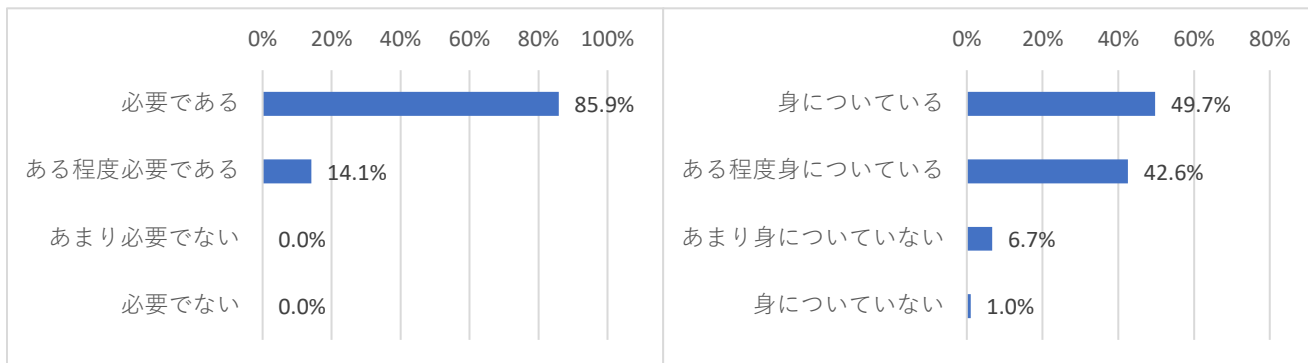
(企業・団体における必要度の認知)

(東京成徳大学卒業生の修得度の認知)

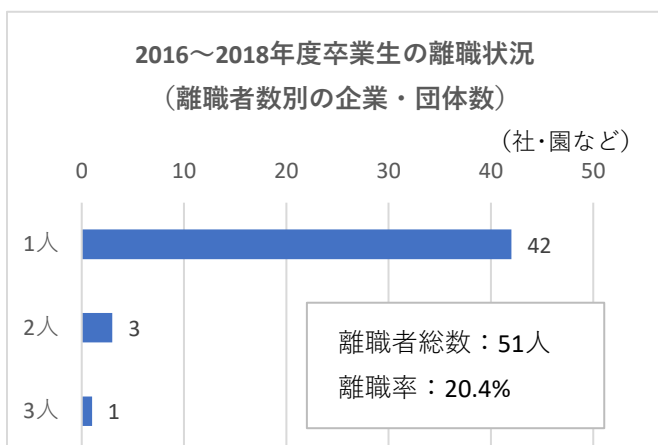
11. コミュニケーション能力

(n=205、不明=3)

(n=195、不明=13)



V. 東京成徳大学卒業生の離職状況



(注) 離職者数、離職率の分母となる採用者数は、回答していただいた208の企業・団体のうち以下を除くことで、それぞれ51人、250人とした。
①「離職者数>採用者数」の回答6件
②企業・団体名未記入により採用者数不明の回答7件

(参考：年度別・学科別調査対象卒業生数)

	2016		2017		2018		計		合計
	複数就職	単数就職	複数就職	単数就職	複数就職	単数就職	複数就職	単数就職	
日本伝統	2	7	3	7	5	7	10	21	31
国際言語	1	7	5	2	2	7	8	16	24
福祉心理	14	7	6	5	1	9	21	21	42
臨床心理	16	16	15	13	6	13	37	42	79
健・スポ	18	21	16	11	11	9	45	41	86
子ども	10	38	9	56	15	52	34	146	180
経営	15	28	15	16	21	35	51	79	130
総計	76	124	69	110	61	132	206	366	572

(注)福祉心理学科、臨床心理学科、子ども学科は「園・施設等」と「民間企業等」への就職者数の比率を反映。

2019年度東京成徳大学卒業生就職先アンケート結果の主要Facts

1. 就職先企業の属性
- ・業種 「教育・学習支援」、「医療・福祉」、「卸売・小売」が多く、三者で約59.9%（2018年度：72%）である。
 - ・資本金 「1億円未満」が49.3%（42%）、「該当しない」が26.4%（34%）
 - ・雇用者数 正規、非正規とも「30人未満」が最多で29.8%（31%）、52.3%（58%）。「1000人超」も一定数あり16.1%（18%）、15.6%（14%）。
2. 1企業・団体当たりの勤務実績のある本学卒業生数 ・「1人」が最も多く54.0%（2018年度：46%）、次いで「2人」が21.8%（24%）。他方、「10人以上」も6.9%（6%強）。
3. 「学修成果」の企業・団体における「必要度」と「卒業生の修得度」に関する認知状況 : 好転、赤字: 後退

学修内容（「学修調査」をベースとする）	①企業・団体における必要度の認知		②企業・団体における本学卒業生の修得度の認知		②—①		
	2019	2018	2019	2018	2019	2018	
1. 外国語能力	2.0	2.0	2.2	2.3	0.2	0.3	
2. ICT リテラシー	2.6	2.6	2.8	2.7	0.2	0.1	
3. 教養・基礎的スキル	幅広い知識と教養・一般常識	3.4	3.4	3.0	3.0	-0.4	-0.4
	レポートや論文を書く力	2.9	3.0	2.9	2.9	0.0	-0.1
4. 専門知識・スキル	3.1	3.1	2.8	2.8	-0.3	-0.3	
5. 社会人基礎力	自主性・主体性	3.7	3.7	3.1	3.1	-0.6	-0.6
	課題発見と解決能力	3.6	3.6	2.9	2.9	-0.6	-0.7
	協働性	3.8	3.8	3.5	3.4	-0.3	-0.4
6. 総合力	自分自身のものの見方・考え方	3.4	3.5	3.1	3.0	-0.4	-0.5
	プレゼンテーション能力	3.0	3.1	2.8	2.7	-0.2	-0.4
	コミュニケーション能力	3.9	3.9	3.4	3.3	-0.4	-0.6

（注）①、②は、「必要である=4、ある程度必要である=3、あまり必要でない=2、必要でない=1」および「身につけている=4、ある程度身につけている=3、あまり身につけていない=2、身につけていない=1」とする加重平均値。

4. 離職者数（調査対象：2016～2018年度卒業・採用） ・51人（1人：42社・園など、2人：3、3人：1）／250人＋7社・園など（企業名未記入のため採用者数不明）≒20.4%

5. 自由記述

赤字：2019年度と2018年度とが異なる回答

	①どのような点を評価して採用	②学生時代に身につけておく・体験しておくこと	③本学へのご意見・ご要望
1位	2019年度 真面目・真摯・実直・誠実 2018年度 明るい・明朗	コミュニケーション能力 コミュニケーション・折衝・対応力	採用・推薦・紹介の希望と依頼 採用・推薦・紹介の希望と依頼
2位	2019年度 コミュニケーション能力 2018年度 真面目・真摯	社会常識・ビジネスマナー アルバイト	卒業生の近況・活躍（ポジティブ評価） 卒業生の近況・活躍（ポジティブ評価）
3位	2019年度 明るい・明朗 2018年度 素直	資格・資格取得への意欲 幅広い知識・常識	学内企業説明会・セミナーへの参加希望 学内企業説明会への参加希望
4位	2019年度 積極的・能動的・前向き 2018年度 コミュニケーション能力	協調性 マナー・礼儀・言葉づかい・敬語	一般的挨拶（今後ともよろしく） 一般的挨拶（今後ともよろしく）
5位	2019年度 意欲・情熱・熱意・熱心・一生懸命 2018年度 人柄・人となり	（同数で4位）課題発見・解決能力 学業・専門知識	本学の教育・人材育成への要望 実習への勧誘